



平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月12日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL http://www.nousouken.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 及川 智正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松尾 義清 TEL 03-6417-1047
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年2月28日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
30年8月期第2四半期	1,055	—	△56	—	△57	—	△28	—
29年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 30年8月期第2四半期 △50百万円（－％） 29年8月期第2四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	△6.87	—
29年8月期第2四半期	—	—

（注）1. 平成29年8月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成29年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
30年8月期第2四半期	1,500	661	40.0
29年8月期	1,360	685	44.4

（参考）自己資本 30年8月期第2四半期 600百万円 29年8月期 603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 平成30年8月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,270	36.8	△100	—	△70	—	△70	—	△16.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期2Q	4,201,000株	29年8月期	4,191,000株
② 期末自己株式数	30年8月期2Q	－株	29年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期2Q	4,195,254株	29年8月期2Q	4,191,000株

(注) 1. 平成29年9月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数については、平成29年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 平成29年12月14日付で譲渡制限付株式報酬として新株式10,000株を発行しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年9月1日～平成30年2月28日)におけるわが国経済は、海外経済の不確実性などに対する懸念があるものの、政府による景気対策や日銀の金融緩和策等の効果もあり、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、株式市場や為替相場が変動する等、先行きの不透明感が懸念されております。

当社グループの主たる事業領域である食品業界においては、生活者の健康志向の上昇を背景に、食の安心・安全に関する意識は引き続き高い状況にあります。

このような環境の下、当社グループは、農家の直売所事業に注力し、積極的にスーパーマーケット等の小売店(以下、「スーパー等」という)と交渉及び導入を進め、新規に導入いただいたスーパー等が増加し、平成30年2月28日時点で1,087店舗(国内1,081店舗、香港6店舗)まで拡大いたしました。スーパー等に対しては、店舗巡回スタッフを増員することで関東や関西の店舗でのフェア及び販促支援の強化や、九州地区より関東や関西に冬場の端境期に出荷する等、より多くの農産物が販売できるよう努めてまいりました。また、登録生産者に対しては、相場情報やスーパー等の特売情報等をタブレット等にて提供し、より多くの農産物を出荷していただけるよう努めてまいりました。一方、香港では、スーパー等だけでなく、飲食店からの日本産農産物の需要を受け、継続的に出荷ができるよう検証してまいりました。その結果、農家の直売所事業による流通総額は4,265,960千円となりました。拡大しているスーパー等への農産物供給量確保のため、集荷場を関東地区及び四国地区に開設し、集荷場は前連結会計年度末より3拠点増加し平成30年2月28日時点で72拠点、登録生産者は前連結会計年度末より461名増加し平成30年2月28日時点で7,291名と拡大いたしました。

さらに、中期経営計画に基づき、事業基盤の成長スピードを加速させるため、物流プラットフォームの再構築やITプラットフォームの強化、並びに人材採用等の先行投資を積極的に実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,055,757千円、営業損失は56,230千円、経常損失は57,856千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は28,814千円となりました。

なお、当社グループは、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ140,674千円増加し、1,500,862千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ71,901千円増加し、1,367,673千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少12,264千円、売掛金の増加56,499千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ68,773千円増加し、133,189千円となりました。これは、有形固定資産の増加9,434千円、無形固定資産の増加40,242千円、投資その他の資産の増加19,096千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ164,652千円増加し、839,645千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ87,787千円増加し、698,715千円となりました。これは主に、買掛金の増加55,814千円、1年内返済予定の長期借入金の増加16,494千円、未払金の増加27,056千円、未払法人税等の減少19,928千円、賞与引当金の増加14,595千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ76,865千円増加し、140,929千円となりました。これは主に、長期借入金の増加66,222千円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ23,977千円減少し、661,217千円となりました。これは主に、資本金の増加13,080千円、資本剰余金の増加13,080千円、親会社株主に帰属する四半期純損失28,814千円、非支配株主持分の減少21,033千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して12,264千円減少し、867,775千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、39,850千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失57,856千円、売上債権の増加56,499千円、法人税等の支払額22,544千円、仕入債務の増加55,814千円、未払金の増加30,222千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、55,165千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,304千円及び無形固定資産の取得による支出51,951千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、82,716千円となりました。これは、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出17,284千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月12日の「平成29年8月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,040	867,775
売掛金	401,844	458,343
その他	17,011	44,536
貸倒引当金	△3,124	△2,982
流動資産合計	1,295,771	1,367,673
固定資産		
有形固定資産	14,715	24,150
無形固定資産	32,415	72,657
投資その他の資産	17,285	36,381
固定資産合計	64,416	133,189
資産合計	1,360,188	1,500,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	413,003	468,817
1年内返済予定の長期借入金	28,329	44,823
未払金	90,040	117,097
未払法人税等	25,207	5,279
賞与引当金	6,576	21,171
その他	47,772	41,526
流動負債合計	610,928	698,715
固定負債		
長期借入金	59,700	125,922
その他	4,364	15,007
固定負債合計	64,064	140,929
負債合計	674,992	839,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	199,216	212,296
資本剰余金	227,446	240,526
利益剰余金	177,198	148,384
株主資本合計	603,861	601,207
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22	△267
その他の包括利益累計額合計	22	△267
非支配株主持分	81,311	60,277
純資産合計	685,195	661,217
負債純資産合計	1,360,188	1,500,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	1,055,757
売上原価	261,429
売上総利益	794,327
販売費及び一般管理費	850,558
営業損失(△)	△56,230
営業外収益	
受取保険料	1,100
受取賃貸料	806
その他	150
営業外収益合計	2,058
営業外費用	
支払利息	372
賃貸費用	752
為替差損	2,541
その他	16
営業外費用合計	3,683
経常損失(△)	△57,856
税金等調整前四半期純損失(△)	△57,856
法人税、住民税及び事業税	2,796
法人税等調整額	△10,480
法人税等合計	△7,683
四半期純損失(△)	△50,172
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,357
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,814

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純損失(△)	△50,172
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	34
その他の包括利益合計	34
四半期包括利益	△50,137
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,803
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,334

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△57,856
減価償却費	10,034
のれん償却額	492
株式報酬費用	1,875
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△142
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,595
受取利息	△5
支払利息	372
売上債権の増減額(△は増加)	△56,499
仕入債務の増減額(△は減少)	55,814
未払金の増減額(△は減少)	30,222
その他	△15,807
小計	△16,905
利息の受取額	5
利息の支払額	△405
法人税等の支払額	△22,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,304
無形固定資産の取得による支出	△51,951
その他	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△17,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	82,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,264
現金及び現金同等物の期首残高	880,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	867,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。